

第52回 郡山市花いっぱいコンクール 表彰式



郡山市・郡山市教育委員会
郡山市明るいまちづくり推進委員会協議会

審査員代表

一般花壇の部

郡山市農林部園芸畜産振興課園芸推進係
主任 岩谷 智恵子

学校花壇の部

郡山市都市構想部公園緑地課維持管理係
係長 戸田 浩

路側の部

郡山市明るいまちづくり推進委員会協議会
副会長 鈴木 清司



一般花壇の部 最優秀賞 みやさきほこる会 (田村)

(講評)

閉校となった田母神小学校入り口に設置された800㎡程の花壇です。

マリーゴールド、サルビア、ジニアが10列ほど並んでいる単純な配置の花壇のはずですが、一目見た審査員から「やるな!」という声があるほど、とびぬけた「迫力」がありました。

マルチを張り、高めの畝を設置、草一本ない雑草管理など、丁寧な栽培管理が花の勢いを引き立ており、この点も高く評価されました。

小学校は閉校となりましたが、楽し気な子供たちの声が聞こえてくるような、地域の華となる素晴らしい作品でした。



一般花壇の部 最優秀賞
下枝一区花を愛する会（中田）

（講評）

道路沿いに設置された150㎡程の扇型の花壇です
今年も赤色、黄色、青色がダイナミックに彩られていました。

今年は厳しい暑さのため、サルビアが枯れる花壇が多くある中、枯れたサルビアを抜き取るなど丁寧な栽培管理がマリーゴールドの黄色とブルーハワイの青色をより際立てていました。全体として見ると、周囲の景観に映え、素晴らしい花壇となっております。

管理の面からマルチを張り、水捌けを考慮し高めの畝を設置している点や花壇の管理状況の良い点も高く評価されました。



一般花壇の部 優秀賞
海老根環境保存会（中田）

（講評）

全体が600㎡程と規模が大きい花壇です。

今年は趣向を変え、青色の花苗で中心をつくり、中心から放射線状に広がりのあるデザインで、太陽のような力強さを感じられました。

日日草、サルビア、マリーゴールドなど種類もバラエティに富み、色彩の美しさが周辺の山や田んぼの緑に映えていました。

地域の景観形成のために、保存会と地域住民の方が協力しながら管理し、地域づくりに貢献されている素晴らしい作品でした。



一般花壇の部 優秀賞
熱海婦人会竹ノ内支会（熱海）

（講評）

国道49号線から集落へ入ると、全体で300㎡のデザインガーデンが大きく広がります。コンクール参加29年目。今年のテーマは「竹ノ内マウンティンガーデン」とし、色とりどりの花苗で山をデザインしました。

デザインの絵コンテを看板下に設置し、見る方にデザインを分かりやすくしている点や花を次々咲かせるように植え付けし、見るものを飽きさせない工夫が施されていました。

地域の方や訪れる方への配慮、管理や見学者に花を見やすくするように通路を広く取るなど、配慮にあふれる所が高く評価されました。30年目の取組がますます楽しみです。

(一般花壇の部 総括講評)

今年は春先からの異常気象に続き、外出するのもはばかれるような猛暑で花の管理が大変な中、工夫を凝らし花の水やりや手入れをしていただき、各団体とも大変素晴らしい花壇となっております。

特に、最優秀賞、優良賞となりました団体の作品は、丁寧な管理、見事な花壇配置など創意工夫にあふれ、とても見応えがありました。

また、地元神社とのコラボなど新しい取組を行う団体もあり、今後の活動が益々楽しみであります。

受賞の有無、規模の大小にかかわらず、地域の子供たちや、地域を訪れる方を楽しませるために、地域一丸となったこのような活動は地域住民の心を潤わせ、地域の活性化につながっていくものであると考えます。

これからも、草花や地域の魅力を最大限に活かした花壇づくりに取り組んで頂けるようお願いいたします。



学校花壇の部 最優秀賞 郡山市立守山小学校（田村）

（講評）

校舎の前に、きれいに管理されたベゴニア、マリーゴールド、サルビアなどの花が色とりどりに並んでおり、花の数もさることながら、1つ1つの花が大きく、生き生きと咲いておりました。今年は猛暑で雨も少なかったため、日頃の管理が行き届いていることがわかります。学校の児童たちも、花壇の草むしりなどに積極的に参加するなど、学校を挙げて管理をしている点もとても良い取り組みであると思います。

学校の正面だけでなく、裏手にあたる国道沿いにも花壇をつくり、道行く人やバスを待つ人の目を楽しませていることも高評価となりました。



学校花壇の部 優秀賞
郡山市立小泉小学校（富久山）

（講評）

学校の校門からきれいな花壇が続き、訪れる人を花で歓迎するようなレイアウトが素晴らしいと感じました。校舎の前には、赤と紫の配色がとてもきれいな花壇があり、背の高いサルビアを奥に植えて、全体的にバランス良く配置されています。花だけでなく、鮮やかな緑色のコキアを効果的に配置していることが、より花のきれいさを引き立てていました。

学校花壇だけでなく、全校児童による「一人二鉢活動」の鉢からもきれいなマリーゴールドが咲いており、学校全体で花いっぱいの活動に取り組んでいたことが、良い評価となりました。



学校花壇の部 優秀賞
郡山市立行徳小学校（富久山）

（講評）

学校の玄関につながる通路に沿ってプランターがきれいに並べられており、訪れる人を花で導くようなレイアウトが目を楽しませてくれます。幅広に並べられたプランターにはマリーゴールドが見ごろを迎えており、日頃の管理が行き届いていることが分かります。プランターの配置方法も、階段や台座を使うなどの工夫が見られ、ボリューム感のあるレイアウトがなされている点も高評価につながりました。

グリーンカーテンや稲の栽培などのSDGsや花いっぱい運動に関連した活動が実施されていることも、素晴らしい取組みであると思います。

(学校花壇の部 総括講評)

今回 審査対象となりました11校の入賞団体は、どの学校も素晴らしい花壇を作りあげており、審査では大変苦労いたしました。今年は異常な暑さが続いたので、水やりなどの日頃の管理には大変ご苦労されたものと思いますが、そのような中でも、大きくきれいな花を咲かせた花壇は、どれも見応えのあるものでした。

学校花壇の部は、他の部門とは少し違い、子供たちの情操教育という要素も入ってくると考えており、植物を見ることや育てることで、自然との関わりや地球環境の大切さなどを感じてもらえると、この活動の意義が深くなると感じました。そのような視点も入れて審査をさせていただきましたので、花壇の美しさに加えて花を育てる過程や管理の方法なども含めて評価いたしました。

今後も花いっぱい運動が永く続くことで、地域の環境がきれいに保たれるとともに、参加される皆さまの心と体の健康維持につながることを期待しまして、学校花壇の部の総括とします。



路側の部 最優秀賞
下枝第2集落花の郷（中田）

（講評）

マリーゴールド、サルビア、日々草、百日草、ベゴニア、ブルーハワイと色とりどりの花々が半円状に配列されており色彩の素晴らしさや、植え込みの工夫が評価されました。

また道路を車で走っていると現われる迫力のある花々に、気持ちが一瞬で高揚し、楽しい気持ちにさせてもらいました。

今年は平年より暑いといわれる猛暑がつづいていましたが、皆様の汗、努力、芸術（工夫）が重なって素晴らしい作品となりました。

最優秀賞は審査員全員一致です。



路側の部 優秀賞
前田沢花ばたけの会（喜久田）

（講評）

マリーゴールド、カンナ、クレオメ、日々草と、色とりどりの花々が、色鮮やかに咲き誇っていました。

道路の曲線を利用し流線形に花の色合いを考慮し花植されており、色とりどりの花のコントラストが素晴らしい作品でした。

斜面の土地なので雨水の流れ具合や作業しづらいところでの植付けを考え、腰を伸ばしながら草取りなど努力された情景が目に浮かびます。

花壇面積も350㎡と広く、道路を行き交う人々の心をとらえたダイナミックな花壇です。

皆様の汗と努力を花々が大きく美しく応えてくれ、最優秀賞になってもおかしくない出来映えでした。来年は更に期待します。



路側の部 優秀賞
八幡寿会（三穂田）

（講評）

サルビア、マリーゴールド、ベコニア、日々草と、見事に咲き誇る色とりどりの花が路側を彩っていました。

道路からの見通しも良く、周辺の山や田の緑に、色とりどりの花壇の美しさがとても映えていました。

地域の景観形成のため、地域住民の方が協力しながら管理し、地域づくりに貢献されている素晴らしい作品でした。

(路側の部 総括講評)

受賞された各団体の皆様、素敵な、素晴らしい花々を今年もありがとうございました。

例年になく猛暑の中、花の管理に非常に御苦労されたことと思います。

そのような中、いずれの地区におきましても、手入れが行き届いており、地域の皆様が花を通して交流を持ち、愛着を持って育てていただきましたことを作品から強く感じる事ができました。

市内各所、審査で回らせていただきましたが、花が心を癒し、勇気と元気を与え、笑顔にしてくれるものだ実感しました。

今後も明るいまち郡山に向けて、素敵な花をたくさん咲かせていただきたいと思います。